

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1282
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	農業委員会事業	
根拠法令等	農業委員会等に関する法律 他		A法令	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業
------------------	-----

事務事業の内容

対象	農業及び農地に関わる市民に
手段	農業委員会（委員23名）を法的に設置し
想定する成果	遊休農地解消等、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農業者の地位向上に寄与する

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
委員会開催回数	12回	13回	12回
遊休農地面積	329,218㎡	305,916㎡	-
農用地面積	715ha	715ha	-

成果指標

成果指標名	遊休農地率	遊休農地解消率
成果指標の説明	遊休農地/農用地面積 × 100	(前年実績 - 今年度実績) / 前年度実績

事業の進捗状況 (一般 会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	4.6%	4.3%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	7.1%	-
事業費	事業費	7,107	7,530	7,770
	人件費	4,179	4,131	4,211
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	11,286	11,661	11,981
財源内訳	国			
	県	3,799	3,749	3,749
	市債			
	その他			
	一般財源	7,487	7,912	8,232

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	農業従事者の高齢化，後継者不足等の中で遊休農地を1割弱減少させることができた。
経済効率性	2	1	土地所有者にアンケートを実施し遊休農地解消が達成された。
事務効率性	2	2	農業委員との連携が執れている。
必要性	2	2	隣地の農作物栽培に病害虫の被害及び生活環境等に影響を与えないようする必要が大である。
小計	8 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	営農者から遊休農地の解消について強い要望がある。
合計	9 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	農業従事者の高齢化，後継者不足等により遊休農地の増加に苦慮している中で、増加の抑制及び減少させるよう、農地集積促進員（農業委員）と連携を図らなければならない。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

5年ごとの実態調査を毎年とした。

今後改善すべき点

増加の抑制と減少を図るため、地区ごとの担い手を育成し、農家の意識改革を図り，増加しないように集積・流動化することを進め、有効活用できるよう検討したい。

平成16年度予算に反映する項目

遊休農地を市民農園として対応するため、所要の整備経費が必要となる。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1282
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	農地・農家情報管理事業
根拠法令等	農地法		A法令

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業
------------------	-----

事務事業の内容

対象	農業及び農地に関わる市民に
手段	農地及び農家情報管理を集中的に管理し
想定する成果	農地及び農家情報の提供と事務の簡素化・効率化を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
登記異動件数	3,786 件	3,533 件	- 件

成果指標

成果指標名	登記異動件数伸率
成果指標の説明	今年度実績/前年度実績 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	19.3%	6.7%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	3,802	890	537
	人件費	8,358	10,328	10,527
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	12,160	11,218	11,064
財源内訳	国			
	県	2,068		
	市債			
	その他			
	一般財源	10,092	11,218	11,064

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	農地・農家情報の異動について農家台帳管理システムへの入力等の合理化を図り、より正確に管理できている。
経済効率性	2	2	システム導入後、年々委託料等が軽減されている。
事務効率性	2	2	現況の把握及び過去の権利変動などの記録が必要に応じた確かつ短時間で検索でき対応できる。
必要性	3	3	法令・通達に基づく項目を適正に管理でき、流動化促進に必要な管理・活用ができるため必要である。。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	農地・農家情報を的確かつ短時間で検索するために管理システム機器の更新が必要であるが、多大な経費がかかるため、情報ネットワークセンターに委託する予定。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

平成9年度から現在のシステムを導入した。

今後改善すべき点

システム化の外注を止め情報ネットワークセンター委託を考えている。

平成16年度予算に反映する項目

システム化の委託料を削減する。機器更新に伴う備品購入費または賃借料が必要である。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	農漁業者の資金貸付制度利子補給事業	
根拠法令等	農業・漁業近代化資金助成法		A法令	B要綱

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林水産業
------------------	-------

事務事業の内容

対象	資金貸付制度を利用した農漁業者に
手段	利子補給することにより
想定する成果	農漁業者の経営安定を図る。

事業の概要

(件)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
利子補給	目標件数	302件	228件
	実績件数	282件	244件
	補助金額	7,259千円	6,113千円

成果指標

成果指標名	目標達成率	実績伸び率
成果指標の説明	実績件数/目標件数×100	(当年度-前年度)/前年度×100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	93.4%	107.0%	-
成果指標	計画	-	-	11.8%
	実績	9.9%	13.5%	-
事業費	事業費	7,259	6,113	7,519
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	8,931	7,766	9,203
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,931	7,766	9,203

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	先行きが不透明なため、設備投資を控える傾向にあり、利子補給件数は減少している。
経済効率性	1	1	設備投資に対する負担軽減として効果がある。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	1	1	設備投資に対する負担軽減として利子補給は農漁業経営の安定に効果がある。
小計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	資金貸付制度を利用した農漁業者のみ対象となる。
合計	7 / 15 満点中	7 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	設備投資に対する負担軽減として利子補給は農漁業経営の安定に効果は大きいですが、低金利時代にはあわない制度である。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

利率の低下に伴い、利子補給率を1%から1%以内に変更した。

今後改善すべき点

農漁協、県農業改良普及課等関係機関と連携し、効率的な投資の誘導が必要。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	農業振興地域整備計画見直し事業
根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律		A法令

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業
------------------	-----

事務事業の内容

対象	農業者に対して
手段	農業振興地域整備計画の総合的な見直しを行い
想定する成果	優良農地の確保と保全に努め、農業の振興を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
農用地面積	目標 1,010ha	1,010ha	1,010ha
	実績 1,049ha	1,040ha	-
委託料	農業振興地域整備計画策定再編事業	土地利用計画図区域線線引	-
	2,940千円	105千円	-

成果指標

成果指標名	目標達成率	実績伸び率
成果指標の説明	実績面積/目標面積×100	(当年度-前年度)/前年度×100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	103.9%	103.0%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績		0.9%	-
事業費	事業費	2,974	672	-
	人件費	4,179	4,958	-
	(人数)	0.5	0.6	-
	合計	7,153	5,630	-
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,153	5,630	-

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	農業振興地域整備計画の総合的な見直しにより優良農地の確保と保全を図り、目標を達成した。
経済効率性	2	2	委託を最小限にし、経費節減を図った。
事務効率性	2	2	農業振興地域の除外手続きは事務が複雑で時間がかかる。
必要性	3	2	優良農地の確保と保全のため不可欠な事務である。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	開発の要望が多くなってきており、優良農地の確保と保全が困難となっている。
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	優良農地の確保と保全のため農業振興地域整備計画の総合的な見直しは必要な事務である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

事務委託を最小限にし、経費節減を図った。 平成13年度、14年度の2カ年で実施。

今後改善すべき点

農地保全の意識を農業者に周知し、遊休農地の解消を図る。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	経営構造対策事業
根拠法令等	食料・農業・農村基本法		A法令

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業
------------------	-----

事務事業の内容

対象	農業者に
手段	経営構造対策事業に補助金を交付することにより
想定する成果	地域農業の担い手となる農業経営者の育成を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業概要	事業計画の策定	集出荷場へ非破壊糖酸度センサー増設、複合経営促進施設	複合経営促進施設の貸付
認定農業者数	66人	88人	106人
担い手への農地利用集積	261.5ha	306.9ha	348.5ha

成果指標

成果指標名	認定農業者の育成	担い手への農地利用集積
成果指標の説明	認定農業者年度増加数/年度目標増加数 × 100	農地利用集積年度増加面積/年度目標増加面積 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	120.5%
	実績	-	102.3%	-
成果指標	計画	-	-	113.6%
	実績	-	100.5%	-
事業費	事業費	1,923	414,256	180,243
	人件費	5,015	4,958	5,053
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	6,938	419,214	185,296
財源内訳	国	959	197,285	85,846
	県			
	市債			
	その他		200,045	94,050
	一般財源	5,979	21,884	5,400

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	光センサーの増設により蒲郡みかんのブランド化が促進された。
経済効率性	2	2	設備投資に対する負担軽減として効果が大きい。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	地域農業の担い手育成、安定した農業経営をめざす農業者への支援としての役割は大きい。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	農協が主体となって事業を進めている。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	農業経営の規模拡大に大きく貢献した。
------	---	---	--------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

平成14年度～16年度の3カ年度事業。

今後改善すべき点

リース事業は個人への補助の要素が多々あり、利子補給として市補助金を支出する予定である。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1252
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	ため池改修事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け
基本目標

にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名 農林業
------------------	------------

事務事業の内容

対象	ため池受益者（水利権者）及び地域住民に対して
手段	ため池の環境整備及び改修をすることによって
想定する成果	ため池施設の適切な状態を維持し、池周辺の安全対策を図る。

事業の概要

（池数）

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
環境整備	22	23	29
大規模改修	0	1	30
維持補修	4	7	5

成果指標

成果指標名	環境整備率	改修率
成果指標の説明	環境整備済池数（市＋地域住民＋自然）/総池数（62池）×100	改修済池数/総池数（62池）×100

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	83.9%
	実績	71.0%	72.6%	-
成果指標	計画	-	-	71.0%
	実績	69.4%	71.0%	-
事業費	事業費	14,030	21,856	6,756
	人件費	8,776	8,676	8,843
	(人数)	1.05	1.05	1.05
	合計	22,806	30,532	15,599
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	22,806	30,532	15,599

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	当該事業は、地域住民と連携を取り実施しているが、一部良好でない状態のため池も存在する。
経済効率性	2	2	草刈、軽微な補修は地域住民（受益者）により実施するのが望ましい。
事務効率性	2	2	地域住民と連携を取り、一人の職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	農業用ため池としてだけでなく洪水調整池の機能もあり、市が実施すべき事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	ため池の監視・点検及び不良箇所の通報は地域住民にお願いしている。また一部ため池の草刈は地域住民によって実施されている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	農家（受益者）が減少している現在、地域住民による草刈等の環境整備及び軽微な補修は期待できなくなっている。また、ため池の老朽化も進み、今後地域住民と密接な連携を取って事業を進める必要がある。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

地域住民に監視・点検をお願いしており、環境整備・維持補修が早急に対応できている。

今後改善すべき点

ため池は、農業用水としての利用と自然環境の保全を調和させる必要があり、関係者と連携をとりながら改修や周辺の環境変化に応じた維持管理をしていく必要がある。また、洪水調整池や地域の憩いの場の提供など多面的機能を有するため池の計画的な整備が必要となる。

平成16年度予算に反映する項目

桑原池改修工事を土地改良施設維持管理適正化事業で行うため負担金を予算計上する。また、引き続き計画的に実施していく。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1262
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	豊岡三谷地区ほ場整備事業				
根拠法令等	土地改良法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業
------------------	-----

事務事業の内容

対象	関係権利者の農地を
手段	区画の整形と農道や用排水路を整備することにより
想定する成果	農地の生産性の向上と経営の合理化を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
市の負担金	32,991千円	11,471千円	13,466千円
総事業費	290,850千円	105,000千円	113,400千円
受益面積	11.2ha	2.6ha	1.1ha

成果指標

成果指標名	進捗率	面的整備率
成果指標の説明	事業費累計/総事業費 × 100	整備済受益面積/計画受益面積 × 100

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	80.5%
	実績	61.6%	70.7%	-
成果指標	計画			100.0%
	実績	85.3%	95.6%	
事業費	事業費	32,991	11,471	13,466
	人件費	23,402	14,047	14,317
	(人数)	2.8	1.7	1.7
	合計	56,393	25,518	27,783
財源内訳	国			
	県			
	市債	31,800	10,300	12,100
	その他 一般財源	24,593	15,218	15,683

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	3	工期の延長後は、ほぼ順調に進んでいる。
経済効率性	2	2	地形に高低差があるため法面が大きくコスト高だが、成果は上がっている。
事務効率性	3	2	市は県と地元の調整役だが事業全体を常に把握していなければならない。
必要性	3	3	県営事業だが地元との調整は市が行う必要がある。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	事業の計画から実施まで地元役員が参画している。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	ほ場整備事業に関連する事業(市道造成工事)が完了しなければ、事業の効果はあがらない。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

常に現場の状況を把握するとともに地元要望を適時に応えるため、月に1度県及び市担当者を交え地元役員会を開催している。なお、この事業は平成10年度に事業着手し、平成16年度換地処分予定である。
--

今後改善すべき点

ほ場整備事業に多額の費用を費やしているにもかかわらず、農家の高齢化など耕作者不足による遊休農地が発生している。今後、当事業を行うにあたっては、地元農家の意識調査を行い結果を十分検討し、費用対効果を見極める必要がある。
--

平成16年度予算に反映する項目

平成15年度で造成工事はおおむね完了し、平成16年度は道路舗装など付帯工事が中心となるが、地区内を縦断する市道(三谷池田曲り田1号線)の早期完了が望まれる。
--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1252
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	林道新設改良事業		
根拠法令等	森林法		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

総合計画での位置付け
基本目標

にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名 農林業
------------------	------------

事務事業の内容

対象	林業従事者と市民に対して
手段	林道の保全保護をすることにより
想定する成果	林道及び森林の保全と環境の向上を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業内容	法面調査 事業費補助調整	法面保護 L=33m A=194m ²	-

成果指標

成果指標名	林道総延長
成果指標の説明	林道総延長

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	28,653.7m
	実績	28,653.7m	28,653.7m	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	0	1,500	
	人件費	2,507	2,479	
	(人数)	0.3	0.3	
	合計	2,507	3,979	0
財源内訳	国			
	県		900	
	市債			
	その他			
	一般財源	2,507	3,079	0

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	事業が計画時の目標のどおり完成した。
経済効率性	2	2	
事務効率性	2	2	工事施工に対する人員は適正である。
必要性	1	1	当該箇所は、不特定多数の人が多く集まる場所でもあり、林道の管理上、市が実施すべき事業である。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	地域の要望で実施している。一部の地域住民も参加し決定している。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	林道事業は森林維持保全に必要である。健全な林道・自然環境の保持として、林道事業は効果的である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

事業費確保するに当り、市費の軽減を図るために県費補助で実施した。

今後改善すべき点

定期的な林道・森林のパトロール実施により危険箇所の早期発見に努める。

平成16年度予算に反映する項目

平成16年度は、新設改良事業の予定はない。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	沿岸漁業振興特別対策事業（空港関連漁業振興策）	
根拠法令等	蒲郡市農林水産振興対策事業補助金交付要綱		Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	水産業

事務事業の内容

対象	市内の漁協に
手段	沿岸漁業振興特別対策事業として補助金を交付することによって
想定する成果	漁業施設の近代化、漁村環境の整備、漁村社会の活性化等を推進する。

事業の概要（ ）内は市上乗せ分（千円）

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
三谷漁協補助金	12,396(207)	17,879(298)	13,996(232)
竹島漁協補助金	3,463(57)	-	-
形原漁協補助金	26,303(438)	14,459(241)	-
西浦漁協補助金	13,965(233)	22,315(372)	20,864(348)

成果指標

成果指標名	4漁協の正組合員数
成果指標の説明	4漁協の正組合員数

事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	282人	284人	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	56,127	54,653	34,860
	人件費	4,179	4,132	4,211
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	60,306	58,785	39,071
財源内訳	国			
	県	26,727	26,025	16,600
	市債			
	その他	28,465	27,717	17,681
	一般財源	5,114	5,043	4,790

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	漁業施設の近代化、漁村環境の整備に役立った。
経済効率性	2	2	設備投資に対する負担軽減となり効果が大きい。
事務効率性	1	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	1	2	漁業施設の近代化、漁村環境の整備に役立った。
小計	6 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	漁協が主体となって事業を進めている。
合計	7 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	漁業施設の近代化、漁村環境の整備に役立った。
------	---	---	------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

平成13年度～17年度の5カ年度事業。

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載